

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel <0776-82-1141> Fax <0776-82-2261>
【斉藤新緑事務所】〒913-0046 福井県坂井市三国町北本町2-1-20 京福三国ビル2F
【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp
【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp/ <さいとう新緑で検索可>



雪崩のとき

石垣りん

ほっとらいん

VOL. 52



人は

その時が来たのだ、という

雪崩のおこるのには

雪崩の季節がきたため

と。

武装を捨てた頃の

あの永世の誓いや心の平静

世界の国々の権力や争いをそとにした

つましい民族の冬ごもりは

色々な不自由があつても

また良いものであつた。

平和

永遠の平和

平和と一色の銀世界

そうだ、平和という言葉が

この狭くなった日本の国土に

粉雪のように舞い

どつき降り積っていた。

私は破れた靴下を繕い

編物などしながら時々手を休め

外を眺めたものだ

そして ほっ、とする

ここにはもう爆弾の炸裂も火の色もない

世界に覇を競う国に住むより

このほうが私の生きかたに合っている

と考へたりした。

「美しい国」とは

▼「悪平等主義、お金中心の拜金主義、道徳の軽視、ことなかれ主義の政策、否定・消極主義、享楽主義、恋愛至上主義、家族制度の破壊」

「スポーツ、スクリーン（映画テレビなど）、セックスの三つのS(3S)の奨励など」。

これは、六〇年前に、「ユダヤ民族がドイツをだめにするために、さまざま企てをして、文明の破壊に挑んでいる」と警告した内容です。

「3S」は、戦後、アメリカ占領軍の日本人愚民化政策（頭で考えさせない骨抜き政策）としても積極的に行われ、今は、メディアも芸能・スポーツ中心で、朝から、松井やイチローが何本打った、芸能人が何した、ということばかりです。最近のテレビや週刊誌の俗悪さには末期的なものを感ずります。

▼小泉首相のワンフレーズ・ポリテイクス（一言政治）が、お茶の間を楽しませている間に、日本の政治はひどく劣化し、バラエティ化され、アメリカの第二の占領政策とも言うべき日本改造、アメリカ化政策が見事に貫徹されてきているように思えます。

過去一〇年余、日本の国内問題として論じられ実施されてきた「規制改革」や「構造改革」の大半が毎年秋に米政府が日本政府に要求してきた「年次改革要望書」に書き込まれていました。

日本の産業、経済、行政から司法にいたるまで、全てを対象にさまざまな要求が列挙され、その要求どおり、法改正がなされ、規制が緩和されています。日本の構造改革の本丸といわれ大騒ぎした郵政民営化も、アメリカが自国の保険業界からの圧力を受け、官業としての簡易保険を廃止して、民間保険会社に開放するよう長年要望してきたものです。（拒否できない日本

本

「官から民」に市場を開放して、それをアメリカ大資本やハゲタカファンドが買い占めていくというのでは、日本を売却しているようなものです。

▼グローバル・スタンダード（世界標準）は、アメリカの価値基準。それによって、世界のどこでも商売の出来る世界企業が市場を占有し、世界を支配していく。

誰のための何のための改革か、改革後に何がもたらされるのか、メディアによる政府に対する批判的検証が極端に弱まり、笛、太鼓ばかりが目立つような気がします。

▼奇跡的にも野蠻から退廃へ直行した歴史的な唯一の国だ」とアメリカを皮肉ったのは、フランスの宰相、クレマンソー。

アメリカという国は、軍事産業が基幹産業であり、戦争中毒国家です。「国民の大半を占める能力の高い人々」が、実力主義や競争社会の中で苦悩や欲求不満にあえいでいます。

日本に比べ人口当たり二十倍の弁護士や恐るべき訴訟社会があり、果てしないリストラや日本の数十倍の精神カウンセラーがいます。

実力主義の裏の、上位一パーセントが国富の半分近くを所有する、という極端な弱肉強食も見落としがちである。九〇年代の経済絶好調の中でも、貧困層が増加しています。

特殊な大国アメリカの方式をとれば、国策を誤りやすいばかりか、固有の伝統、文化、情緒、美風など国の魂とでも言うべきものを深く傷つけてしまう。

（祖国とは国語）

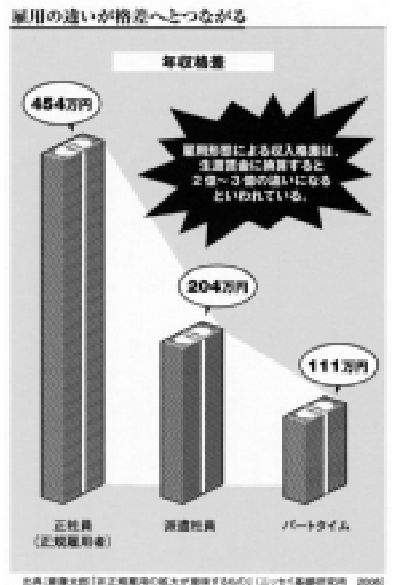
▼第一次大戦後混乱するドイツの状況を嘆き、多くの国民が、ナチスの主張に共感して、現状打開のために、無批判に追随し、危険な道に迷いこんでしまったのが、悲しい歴史的事実です。

「ビジョンなき改革」に無批判に追随し、熱狂する今の日本を見てみると、「この道はいつか来た道」のような錯覚を覚えます。

不安な時代を考える

(一) 市場原理主義がもたらす格差社会

「日本の規制緩和運動は、いわば、たいへん危険な劇薬を患者に副作用を全く知らせず投与しようとしていたのと同じ



である。

医療の場合であれば、それも、作用も副作用も一人の患者に限って現われるだろう。一人の患者がプラスとマイナスの効果を得ることができない。しかし、規制緩和の場合問題なのは、プラスの効果とマイナスの副作用が現われる場所が違うということ。つまり、権力の決定機構に近い投資家、大手企業グループ(そこに働いている個人ではなく、法人、都市生活者といった集団は当面プラスの作用をうける。しかし、日本の中流層をなしていたサラリーマンを含む勤労者、中小企業、地方生活者、年金生活者とも

いった集団は、激流のなかに放り出され、多くの人々が辛酸を嘗めることになるだろう。

現在までのところ、日本の規制緩和運動という治療法は、プラスの作用が働くと思われ人々の手によって一方的に決められている(『規制緩和という悪夢』)

本が出版されて一一年後の現在、ここに書いたことが実際に起こってしまった、と著者、内橋克人(経済評論家)は言う。

▼所得格差

一九七〇年代、所得階層の上位二〇パーセントの所得と下位二〇パーセントのそれとを比較したとき、その差は約一〇倍にすぎませんでした。ところが一九八〇年代の後半にはそれが二〇倍になって、二〇〇〇年代の現在はどうかという、一六八倍にもなっています(厚生労働省データより計算)。

▼十年前、十五年前とくらべて

「労働力調査」などによる平均年収の計算では、正規雇用者四五四万円に対して、契約・嘱託二五〇万円、派遣社員二〇四万円、パート・アルバイト一〇万円と、大きな開きがあります(斎藤太郎『非正規雇用の拡大が意味するもの』ニッセイ基礎研究所)。

「一握りの人々でした」(『アメリカの没落』より)

アメリカではカーター政権、レーガン政権の規制緩和と政策によって、終身雇用が破棄され、金持ちはますます金持ちになりました。一方で普通の人々はウォルマートに代表される小売業、マクドナルドのような外食産業などのサービスの業で、それまでの半額程度の低賃金かつ不安定な雇用で吸収されていったのです。

「要するに規制緩和とは、これまで公平なアンパイアのいたゲームからアンパイアをのけてしまうということだったのです。ゲームは混乱し、何でもありの世界になりました。」

ところが、多くの人々は「規制緩和」という言葉を経済学者が振りまいた時、ルールが変わってしまうということには無自覚でした。皆が、何となく良くなると

いう錯覚を持ったのです。

結局、そうした人々はゲームから弾き出され、得をしたのは、権力の中枢にいてルールブックが変わることをよく自覚してい

た一握りの人々でした。一九八〇年代、日本はアメリカが一九八〇年代に通った道をたどっているように

なっています。

▼日本はアメリカが一九八〇年代に通った道をたどっているように

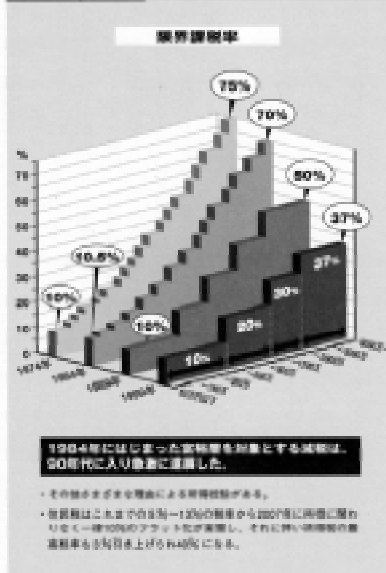
なっています。

▼日本はアメリカが一九八〇年代に通った道をたどっているように

なっています。

なっています。

所得階層のフラット化



一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

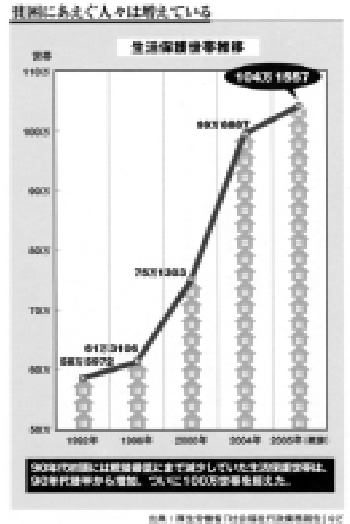
一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

一九五九年には、アメリカの上位所得者トップ四パーセントの総収入は、下位所得者の下から三五パーセントの総収入と同じでした。ところが規制緩和後

▼生活保護世帯

二〇〇五年二月、ついに生活保護世帯が一〇〇万世帯を超えたことが厚生労働省より発表されました。一九五〇年に生活保護制度が発足して以来、初めてのことで...



この生活保護を必要とする世帯が、高齢化も手伝い、九二年度には最低水準であった五八万六〇〇〇世帯から、年々上昇を続けて、一・七倍にまで上昇してきたのです。

▼フリーター

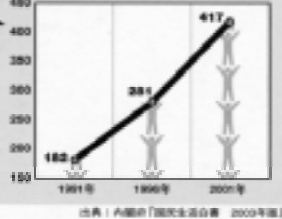
今では「正社員」を希望しながら、不安定で低く抑えられた賃金に甘んじなければならない立場の非正規雇用者が急増している。

年収450万円の仕事か 年収200万円の仕事におきか変わった

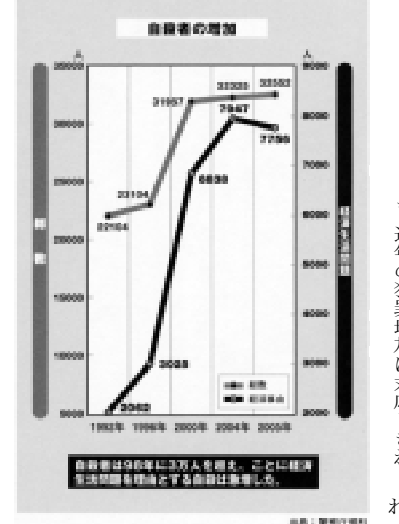


正社員雇用者はこの10年で460万人減少した。非正規雇用者は920万人増えている。

フリーターの増加



格差が人々を絶望に追い込む



このような世界に生きていくことに絶望して自殺する人々の数は、一九九八年に三万人の大会に跳ね上がって以来、下がる気配がありません。

▼社会の不安定化

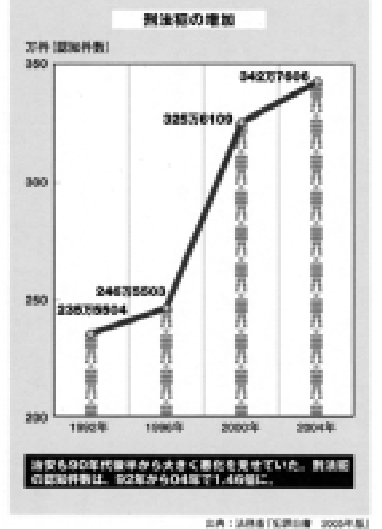
自殺者と刑法犯 自衛隊と犯罪者 二〇〇〇年に三二〇万件を超えたのに、〇二年には戦後最多の三六九万四〇〇〇件弱を記録...

人の数は、二十五年で増大しました。一九九〇年には二〇〇件という低水準に落ちていた「経済生活問題」による自殺者は、二〇〇三年には七・五倍に増えて八九〇〇件に上っています。

▼利益優先・安全性の低下

規制緩和によって最初に見えてくる問題は、過度のコスト競争による賃金・労働条件の悪化、コスト削減による安全性の低下、そして利益優先による公共性の喪失です。

格差が社会の不安を招く



航空業界でいえばアメリカでも日本でも不採算路線からの撤退によって、地方切り捨てが進行しました。そして各社が規模の利益を追求することによって、合併や倒産を通じて業界内で寡占化(少数支配)が進行し、最終的には当初の狙いとは正反対に、独占による運賃の上昇などさまざまな弊害が生じてきます。

▼累進課税のフラット化

法人税率は八五年には四三・三%でしたが、現在は三〇%まで引き下げられ、経済界はさらに引き下げを要求しています。所得税の最高税率は八三年までは七五%でしたが、年々引き下げられ、現在は三七%と、かつての半分以下に下がっています。

厚生労働省の調べによれば、非正社員の賃金は平均で正社員の六四%しかありません。しかも、会社からの医療保険や厚生年金の補助もなく、雇用の身分保障もありません。コスト削減のための従業員への期待は、東京では六八から一・五八倍へと劇的に改善したものの北海道では〇・四七から〇・六六へと小幅改善に留まっており、好景気の北海道の求人倍率でさえ、不

教育改革は正しいのか

進展、家庭環境の変化といった「社会病理」にあるからだと思えます。

と思います。

▼「教育バウチャー制」とは

いじめ、不登校、校内暴力、学級崩壊、青少年犯罪、高校中退、落ちこぼれなど「教育問題」として言われてきました。

しかし、私は、これらの問題は、モノを粗末にする消費文明や金を全ての価値より優先する拝金主義、あるいは低俗なテレビ、ゲーム、さらに子供を甘やかすだけで養えない親、仏教など宗教観教育の欠如など現代社会の問題としてとらえてきました。

最近、マスコミでは、いじめや高校未履修問題、その自殺問題が大きくクロージアップされ、学校教育問題として、学校教員が批判を浴び、「教育改革」が重要と声高に叫ばれています。

しかし、左のグラフにもあるように、先進諸国の少年犯罪の発生

率を比較すると、日本の少年犯罪率は極めて低く、校内暴力、いじめ・不登校なども他国に比較すると少ない傾向にあるようです。また、世界的な教育水準も高い位置をキープしています。

私は、日本の教育は、学校、父兄、地域が連携しており、悪くないと思っています。

むしろ、アメリカ輸入のような「ゆとり教育」改革や小学校からの英語教育のようなものに色目を使ったり、エリートを養成するための中高一貫校・教育特区校や学校選択制、習熟度別学習など小学校から、できる子や恵まれた家庭の子どものために特別ルールを作るようなことは、益より害の方が多くない気がしています。

経済財政諮問会議などが教育に与えている影響は、いまでも少なく、「官から民へ」、規制緩和、競争原理、教育の市場化(株式会社化)です。

学校評価、教員評価は大事なことで、それが学校の第三者評価機関による評価や教員免許更新制(一〇年ごと)に免許更新のための認定講習を受け、審査で可と判断されれば更新されるもの)の導入となると、これも弊害の方が大きいように思います。

「学校教育問題」にするから、改革がピンとはずれになっっている

安倍総理は、政権公約の重点として「改憲と教育」を掲げ、「教育基本法の改正と教育バウチャー制」の導入をめざすとしています。

フリードマン(市場主義を唱えた米国経済学者)が一九五五年に提唱したもので、バウチャーという教育利用権を発行し、保護者・子供が選んで入学した学校にその利用権の教にに応じて予算を配分するものです。学校選択制と生徒に応じた予算配分的方式を組み合わせた制度で、市場的競争原理によって公立学校を改革しようとするものです。

現在、この制度を採用しているのは、世界でアメリカの三つの州だけですが、いずれも学校格差がさらに激しいかたちであられ、階層化はより一いつそうすすんだようです。

現在の「改革」は、問題解決をするためのものなのか、改革至上主義に取り付かれた改革のための「改革」なのか、疑わしい感じがします。

少なくとも教育基本法改正が現状の課題解決とは無関係に

学習到達度で高いレベルをみせたフィンランド

国	読解力	算数	科学	英語	総合
1	フィンランド	94	94	94	94
2	韓国	93	93	93	93
3	カナダ	92	92	92	92
4	ポーランド	91	91	91	91
5	中国	90	90	90	90
6	ニュージーランド	89	89	89	89
7	アイスランド	88	88	88	88
8	スウェーデン	87	87	87	87
9	オランダ	86	86	86	86
10	香港	85	85	85	85
11	ベネチア	84	84	84	84
12	スロベニア	83	83	83	83
13	スイス	82	82	82	82
14	日本	81	81	81	81
15	マカオ	80	80	80	80
16	チリ	79	79	79	79
17	ブラジル	78	78	78	78
18	アメリカ	77	77	77	77
19	フランス	76	76	76	76
20	ドイツ	75	75	75	75
21	オーストリア	74	74	74	74
22	ロシア	73	73	73	73
23	中国	72	72	72	72
24	インド	71	71	71	71

あると思われれます。「愛せ」といわれて「愛す」なら、この世に恋愛問題など生じないでしょう。「国を愛せ」と国民に対して命令するような品のないことをするのはなく、黙っていても愛される国を創ることが政治家の任務だと思います。

▼見習うべきはフィンランド
先進国の学生の学力調査のなかでどの分野でもダントツの成績をおさめているフィンランドを見てみますと、興味深い事実につきあてられます。

たとえばテキストの内容を理解し、考える力をみる「読解力」の調査。上下五段階に分けられる生徒の集団のうち、フィンランドはレベル3以上の生徒が約八〇パーセントととても大きい割合を占めるだけではなく、レベル1以下の生徒も調査地域の平均が一九パーセント強に対して、約五・七パーセントと際

立つて少ないのです。ちなみに、日本は調査国の平均値と同等の二〇パーセント弱でした。右の表はその総合成績を比較したものです。

フィンランドの場合、教育は小学校から大学まで無料であり、義務教育期間は、給食や教科書も支給されます。また社会人となつてからも、大学はいつでも門戸を開いています。そしてその教育方法も日本のように受験圧力があり、塾があつて、点数を競い合うというものではありません。

基本的には提供される教育内容が同じなので、日本のように私学を受験したり、いい学校に進むために塾にかよつたりということはほとんどありません。教師の給与は国際比較でも高い水準に保ち、よい人材をあつめています。

競争原理を導入するといつて公立小学校も市場における選択をせまるという学区の自

由化という「規制緩和」をおこなっている日本とは反対の方向を向いています。それでも成績がいい、という点に注目してよいでしょう。

よく知られているように、フィンランドの社会保障は、教育以外にも医療費や養育費、そのほとん

どを無料にしています。そのかわりに当然のことながら、税金の負担は重いということになります。

とくに高所得者になればなるほど、スライド式に課税率は上がっていきますので、そもそもとてもない金持ちというのはいけません。

税金をフラット化し、競争経済をとりいれることよりも、国民それぞれが共通して負担をおうことで、社会的な安定を選んでいるということになります。

そして国民は総じて、自分の利益のためにではなく、公共のためにはなにかということを考えて行動します。

これまで見てきたように、ネオリベリズム的な循環の中では、格差が拡大し、大が小を呑み、少数のものに富と権力が集中してゆく、そうした中で人の心の荒廃こそがもっとも問題なのです。(悪夢のサイクル)

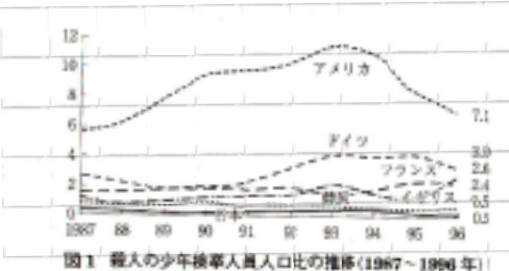


図1 殺人の少年被疑者人口比の推移(1987～1996年)

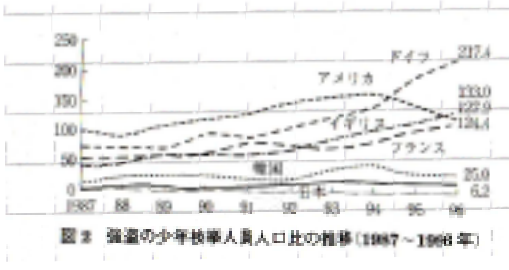
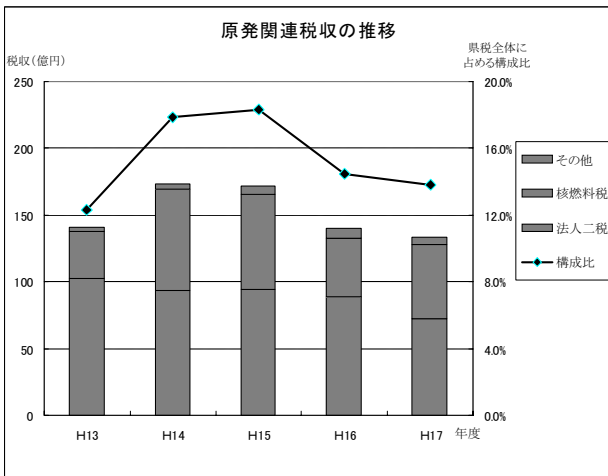


図2 強盗の少年被疑者人口比の推移(1987～1996年)

なぜ教育基本法改正か

原子力発電所から いくら入るの？



県税全体に占める構成比

なお、核燃料税収のうち四割は立地・周辺市町等に配分されており、原子力安全対策や消防防災対策をはじめ、道路、産業基盤、教育文化施設など地域の振興や住民福祉の向上を図るための公共施設の整備等に充てられています。

県の十七年度決算では、県税収入約九七〇億円のうち、原子力発電事業者からの税収は約一三四億円(法人事業税、法人県民税などで七九億円、核燃料税約五五億円)と、全体の一三・八%を占めています。

税収入とは別に、原子力発電所が立地する市町(七二億円)、また、その周辺の市町村および県に対し、毎年国から電源三法交付金等が交

付されており、周辺市町村分を含む県への十七年度交付額は約一〇一億円(県九二億円、市町村九億円)となっています。

これらを合計すると、原子力発電所の立地によって県の歳入増は、約二三五億円となり、これは、県の十七年度決算額約四千九四八億円の約四・七%を占めることとなる。

このうち核燃料税については、平成十八年十一月に更新時期を迎えることから、去

る六月県議会において、税率を一〇%から一二%に引き上げる条例案を審議し、可決したところであり、このことにより、今後五年間は年平均で約七四億円の税額を確保する見込みです。

また、これまで核燃料税は、主に嶺南地域の社会基盤の整備、産業の振興、防災対策等に充ててきたが、今回の更新にあたっては、立地地域(としての福井県)と受益地域(としての関西)の「共生」の観点から、新幹線などの高速交通体系の整備、森林整備など、嶺南地域だけでなく県全体で取り組むべき施策・事業にも充てることとしています。

当面する原子力行政の現状と課題

□ 美浜発電所3号機について

▼現状

十月二十三日、点検の結果、異常がないことを確認するとともに、「来年一月中旬を目途に、営業運転再開に向けて原子炉を起動する」と発表

仮に、一月中旬に原子炉を起動した場合、その後の調整運転に通常は約一ヶ月を要するため、本格的な営業運転再開は早くても二月中旬以降となるが、美浜3号機の場合は事故により約二年半運転を停止しているため、調整運転に通常よりも長い期間を要し、営業運転再開が更に遅れる可能性もある。

▼今後の課題

- ・ 来年一月中旬の原子炉起動に向けて、遺族の理解を得ること
- ・ 原子炉起動予定の一月中旬までの間、設備の健全性を維持すること
- ・ 再発防止対策の継続的取組みと検証、更なる県民理解に向けた広報広聴

□ 「もんじゅ」について

▼現状

十二月中旬からは工事確認試験が開始される予定で、その後のプラント確認試験を経て、原子力機構は、平成二十年五月の性能試験開始を目指している。

▼今後の課題

- ・ 工事確認試験やプラント確認試験などにより、改造工事が適切に行われたことが確認されること
- ・ 燃料変更計画について国の安全審査等により安全性が確認されること
- ・ 運転管理や事故時の通報連絡などソフト面についても改善が確実に進むこと
- ・ 積極的な情報公開や研究開発拠点としての活動など、県民の信頼と安心を回復するための取組みを着実に積み重ねること

□ 敦賀発電所3、4号機について

▼現状

建設予定地では、一昨年7月から、海域でのケーソン据付工事や陸域でのトンネル工事などの準備工事が行われてきており、約五年間で、公有水面の埋立と陸域部の造成により、約二七万平方メートルの発電所敷地を造成し、その後、国の原子炉設置変更許可(安全審査終了)や工事計画認可等の手続きを経て、原子炉建屋などの本格的な建設工事に着手する予定。

▼今後の課題

- ・ 国の安全審査等により、耐震安全性をはじめとする敦賀3、4号機の安全性が確認されること
- ・ 建設工程の変更について、地元をはじめ関係機関の十分な理解を得るとともに、将来的な電力の安定供給という課題や地域経済に与える影響にも十分配慮しながら、計画の着実な推進に向けて取り組むこと

□ 「ふげん」について

▼現状

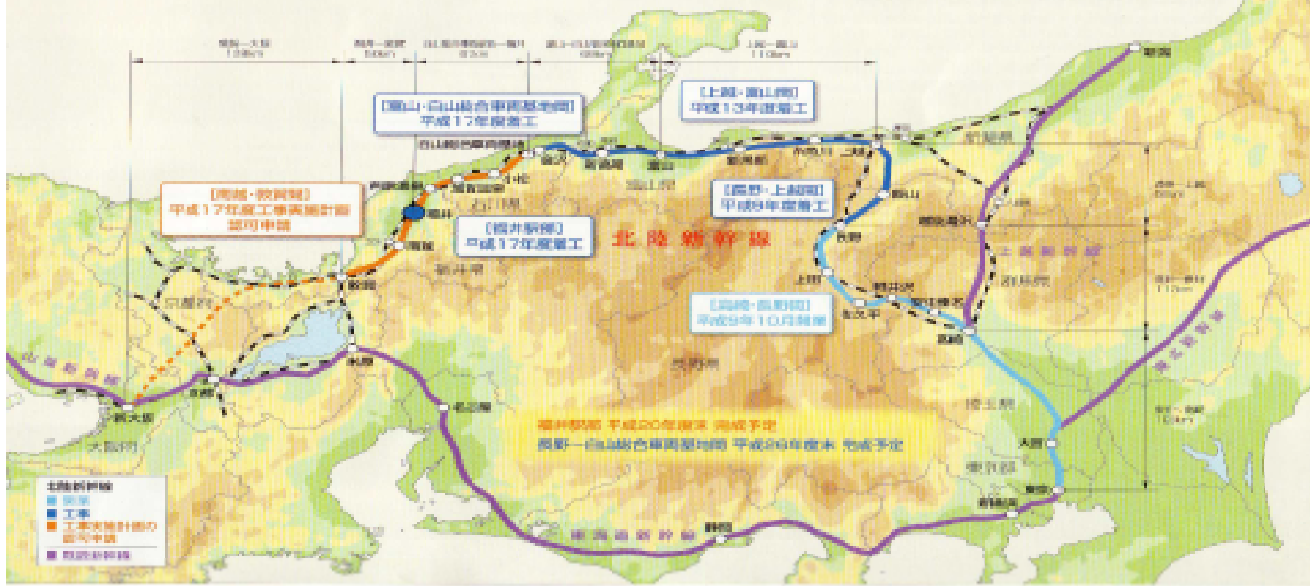
平成十八年十一月原子力機構が、安全協定に基づき、廃止措置計画を県と敦賀市に提出し、同計画について原子炉等規制法に基づき国への認可を申請

▼今後の課題

- ・ 将来、解体作業に伴い発生する廃棄物(放射性廃棄物を含む)を適切に管理した後、確実に処理・処分すること
- ・ 「ふげん」で発生する放射性廃棄物の処分場を確保すること
- ・ 放射性廃棄物として取り扱う必要がない廃棄物(クリアランスレベル以下の廃棄物)として国の確認を受けたもの(一般産業廃棄物と同様の再利用や処分が可能)の取扱いについて、県民、国民の理解を得ること

新たな交流のはじまり。

北陸新幹線は、従来の路線として長野、上越、富山、石川、福井等の主要都市を結ぶ。大船に乗り込む約2000人の乗客が、このルートを通って、福井県内へ降り立つ。平成24年度に開業する予定で、上越・富山間は平成23年5月に、富山・金沢間は平成24年10月に、上越・長野間は平成24年5月に、富山・金沢間は平成24年10月に開業する。北陸新幹線は、福井県内へ降り立つ。平成24年度に開業する予定で、上越・富山間は平成23年5月に、富山・金沢間は平成24年10月に、上越・長野間は平成24年5月に、富山・金沢間は平成24年10月に開業する。



大阪 ←	福井 →	金沢 →	富山 →	上越 →	長野 →	東京
現行 1時間50分 → 50分 (1時間短縮)	50分 → 20分 (30分短縮)	1時間25分 → 35分 (50分短縮)	2時間30分 → 1時間 (1時間30分短縮)	4時間20分 → 1時間15分 (3時間5分短縮)	3時間30分 → 2時間40分 (50分短縮)	

北陸新幹線の概要

ルート 東京ー長野ー上越ー富山ー金沢ー福井ー大阪を結ぶ延長七〇〇キロ
 福井駅部 長さ八〇〇m、高さ一〇〇m
 事業費 平成二〇年度末
 ※新幹線が福井に延伸されるまでの間は、えちぜん鉄道が福井駅部を暫定的に利用する

北陸新幹線の課題

- (一) 福井までの開業
 - ・金沢までの開業予定は平成二十四年度
 - ・目標は北陸三県同時開業
 - ・問題は財源。金沢ー福井間は約五〇〇億円
 - ・福井ー敦賀間は約三三六〇億円
- (二) 敦賀以西のルート
 - ・若狭ルート (若狭ー京都ー大阪の新ルートで約九七〇〇億円程度の見込み)
 - ・米原ルート (しらさぎのルートで約三千億円の見込み)
 - ・湖西ルート (雷鳥のルートで、車輪幅を自動調整できるフリーゲージ・トレインを導入すれば設備費程度で数百億円、新ルート建設であれば一兆円、京都から東海道線に乗れば六五〇〇億円程度と試算されている)
- (三) ストローク現象
 - ・消費人口が大都市圏に吸い取られる現象、ライバルの金沢、富山は新幹線を見据えたまちづくりを展開。
 - ・東京・大阪にはない魅力をどう創出するか
- (四) 平行在来線の資産取得と健全な経営
 - ・JRからの資産取得

えちぜん鉄道の高架乗り入れ問題

北陸新幹線福井駅は、当初三階建てにして、えちぜん鉄道もJR北陸線も新幹線もすべて、上を走らせる計画でした。しかし、国は、新幹線福井駅部の工事認可に当たって、予算の軽減策として二階建てにするよう計画変更を求めてきたため、県はそれに応じました。その暫定措置として、新幹線が走るまで、えちぜん鉄道が新幹線高架部分を利用し、新幹線開業後、改めて、えちぜん鉄道を移設するということになりました。

しかし、この二階建てに三路線が入るということは、JRが駅部で単線となることや、新幹線ルートの変更を伴うなど、かなり無理が生じ、予算上の負担も大きいことが問題として浮上してきました。簡単にいえば、えちぜん鉄道の福井口駅から福井駅までを地上に走らせれば解決するのですが、これは、福井市が高架化事業をした意味がないと反対するので、究極、えちぜん鉄道の福井口駅から福井駅までをどうするか、何かいい方法がないかを考えています。知事と福井市長は、二階建てで三路線とも運行するという方針なのですが、県議会としては、将来を見据えたより良い手段を検討すべきという考えです。



■新幹線軌道と(福井駅部)

■新幹線車両(福井駅部)



さいとう新緑の

気ままにトーク

Sねっと●(レッド)

ライブ実施中



「そんなもん知らない」と聞いていたら、小泉前首相の靖国参拝と怒る理由を知ってるか」と聞いたら、「そんなもん知らない」という。A級戦犯と東京裁判とサンフランシスコ講和条約も知らずに、首相の靖国参拝の是非をいうので、おかしくて、一通り説明したら、「あ、そうなんや」の一言。しかし、これには後日談がある。若い世代の教人と話している時に、「この話をしたら、僕らも全く知らない」ということで、せっかくだから、みんなに話して欲しいということになって、勉強会に発展した。



▼「お父さん、よその国から言われたから参拝しないのはおかしい」
小泉前首相の靖国参拝が注目されていた頃だったか、中学三年の娘が唐突にいうので、「中国や韓国が、首相が靖国参拝すると怒る理由を知ってるか」と聞いたら、「そんなもん知らない」という。



▼「お父さんは、公民が得意だったのか」と娘に聞かれた。社会科が「公民」になったのは何故だったか、教育審議会で多かったのに、いつの間にかそうだった、というような誰かの文を読んだ気がするが、それともかく、「なんで？」と聞き返した。



「いやそんな仕事をしているから」というので、別にと答えて続けた。



▼「政治家になるには何の資格も要らない。選挙で当選さえすれば誰でもなれる。政治家を選ぶ有権者になるには、何の努力も要らない。二〇歳になれば誰でもなれる。」



Sねっと●

「……」娘が啞然とした顔をしたので、何だか、余計なことを言ってしまったようで、ひねくれた娘にならないか、思わず心配した。

首長は何をしなければならぬか、議会とは何のためにあり、議員とはどういう仕事をしなければならぬのか、しっかりとした議会や議員がいるのといないのとはどう違うのか、わからないと、愛想さえ良ければ誰でもいいよ

うになつてしま、政治は混乱し、地域は疲弊する。

▼「郵政民営化」の内容は知らないまま、「改革」に賛成か反対かの選択をする。それにしても、小泉首相の時は誰が何と言おうとアジアとの関係を最悪にしても「靖国参拝」を強行し、郵政民営化に反対すれば、議員に刺客をおくるなどやっつて



策であり、私の最も嫌いな政治手法である。為政者たるべき者の仕事は、時間をかけてしっかりと説明していく姿勢である。国民がはっきりわからないまま、あれよあれよという間に国の大転換がなされていく。それにしても、時代の空気がおかしい。

▼「最後に」感想をお寄せ下さい」との一言に、こうやって思いきって書かせていただきます」

連日、マスコミをにぎわかせ大騒ぎだったが、安倍首相になつたら、「靖国」は言わないし、反対した議員は復党するとなると、あれは一体何だったんだ、単なるカラ騒ぎだったのか、といったくなる気持ちかわからないわけではない。「国民はバカだから、政策を説明してもしょうがない」と言った人がいるが、政策をきちんと説明せず、国民が敏感に反応する言葉を搜して、政府に賛成するように仕向けるようなことは、一つの愚民政治として発言すること「ほんとらしいん」で報告することを行動基準としてきましたが、膝詰めで話す場を設けてこなかったことを反省しています。

▼「そんなこともあつて、「新緑の気ままにトークライブ」を開催することにしました。投票者の代理人として発言すること「ほんとらしいん」で報告することを行動基準としてきましたが、膝詰めで話す場を設けてこなかったことを反省しています。

どこへでも出掛けていきますので、お気軽にお呼び下さい。ちなみに、「Sねっと」の「S」は斉藤新緑(S・S)で、「S」はスマートフォン(S・S)で、スマイルでセクシーに、そしてサデイスファクシオン(満足)。レッドは女性ブルーは青年、グリーンは地域です。

自分の感受性くらい

茨木のり子

ばさばさに乾いていく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいで
気難しくなってきたのを
友人のせいにするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか
初心消えかかるのを
暮らしのせいにするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった
駄目なことの一切を
時代のせいにするな
わずかに光る尊厳の放棄
自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ



33年前の帯広駅と失意の少年

新緑の気ままにとろく

父親の三十三回忌の法事を行わ
せてもらった。
父を失ったのは十七(高校二年)の
時でしたが、必然的に、私もい
よいよ五十になった。

当時、十七歳の失意の少年は、寝袋
一つ持って、北海道一周の旅(二週間
余り旅に出たのだが、今年、それ以来
はじめて、駅の高架事業視察で帯広駅
を訪れた。

当時は、旧金津駅のような帯広駅
だったのにびっくりするような変貌
を遂げており、「ちよつと背伸びして
頑張った所も見ていただけますか」と
いう課長の説明も頗笑ましかった。屋
台村なども面白い。

かつての友人とも連絡が取れ、
横路北海道知事選挙で勝手連をつく
って運動していた話など思い出話に花が
咲いた。その時のことが書いてある
「みんなヒーローだった」という本の
中に、横路知事が誕生して、道庁の職
員に施政方針を放送で流した時、最後
に、茨木のり子の「自分の感受性ぐら
い」という詩を読んだことが記載され
ている。

さすがに最後の一行の「ばかもの
よ」は省いたようだ。
この詩がよくて、それ以来、茨木の
り子が好きになった。が、残念なこと
に今年、他界された。一度もお目にか
かったことはないが惚れた女の一人
である。

▼「人生五十にして転句を描くべ
し」は、村上素道禅僧の言葉。
「転句」は漢詩作法の「起承転結」
の「転」。
頼山陽のざれ唄の例がある。

- (起)京の三条の糸屋の娘
(承)妹十八 姉二十
(転)諸国大名は弓矢で殺す
(結)糸屋の娘は目で殺す

単調さを破り、第三行で、突如と
して、「諸国大名」などと全く関係
のないことに転ずる意表に出て、
最後の句でキリッとまとめ、意外
な結びつきを演ずるといふ一種の
離れ業。

人生を一篇の漢詩にみたてて「起
承転結をつけてみると、人生におい
ても「転」が重要ということか。
しかし、いかに鮮やかに転じても、
「結」がどうなるかわからないのが人
生で、唄のようにうまくいくまで書
き直せないのが、ちとつらい。



整備された現在の帯広駅

▼「人間五十年、下天の内を比べ
れば夢幻のごとくなり。一度生を得
て滅せぬ者のあるべきか」
平安末期、源平の合戦で若くし
て散った平敦盛を題材にした
「敦盛」という幸若舞(室町時代の
舞曲)の語りの部分を織田信長は、
好んで舞っていたようだ。五十
まで生きることなく世を去った。

▼「人間五十年」というのは、人の寿命が五十年とい
う意味ではないようだ。仏教宇宙
観からきており、神が住む「天界」
に対して、神より下級の四天王が
住むのが「下天」、人間が住むのが
「下界」、それぞれの世界は時間の
物差しが桁違いで、下天の五百年
が下界の五十年に相当する。

「人間にとつて長い五十年も、下
天の内と比べれば夢まぼろしのご
とく一瞬のことにすぎない」とい
うことだ。

これに信長は、「ひとたび得た生
も、かならず滅びる」と付け加え
て、そのように達観して語ってい
たことになる。

だからこそ何事が起きても動じ
ず、その境地で本能寺を包囲した
のが明智光秀だと知ったとき、信
長は「是非に及ばず」と言い放った
と伝えられる。

ならば、信長の本当の辞世は「是
非に及ばず」となる。

▼辞世とは世を辞すること、つ
まり死ぬことで、死ぬ際に残す言

葉が辞世の句。これで、わが人生、
第一巻の終わりであるというとき
に、発するメッセージとあれば、
それは抜き差しならぬ人生を凝縮
した想いが込められたものである
から、興味は尽きない。

- ちりぬべきとき知てこそ
世の中の 花は花なれ 人は人
なれ (細川ガラシヤ)
- あらのし 思いは晴るる
身は捨つる 浮世の月に かかる
雲なし (大石内蔵助)

●散るために 咲いてくれたか
桜花 散るこそものの 見事な
りけり (特攻隊員)

しかし、日本人には永別の悲哀
をしやれのめすくせもあつたよう
で、酒好きだった江戸の医者で儒
学者の茨木春潮は、
「南無三宝 あまたの樽をのみ
ほして 身はあき樽と かえる
故郷」と詠み、「酒徳院酔翁樽枕居
士」という戒名をおくられた。

安土桃山の時代に、堺に住んで
いた刀の鞘師、曾呂利新左衛門の
作った鞘は、刀をソロリと包み込
み、びたりと合うので、「曾呂利」
という異名で呼ぶようになったと
いわれており、機知とユーモアに
富んでいたことから、豊臣秀吉の
伽藍として可愛がられた。辞世が
傑作だ。

「今までは 人のことかと思
しに わしが死ぬとは こりやたま
らぬ」

曾呂利新左衛門と亡父、齊藤新
左エ門とは、縁もゆかりもないが、
この辞世の句の洒落さがびつたしの
タイプであったので、何かしら親近
感をもっている。

▼「人生でいちばんいい
言葉は(ほなである)」というの
は女のおっさん田辺聖子。
この(ホナ)は大坂弁なので少
し説明が要る。接統詞で(ほんな
ら)、それなら、ということ。じや
あネ、などという語感か。(それな
ら)が(そんなら)になり、そこ
から(ほんなら) になり、ついに
極端に短縮して(ほな) になっ
た。デパートの地下階でデパチカ
というが如し。

そんならさいなら、の意味も込
め、その奥に(では運命のままに
お別れいたしますが、これは私の
本意ではございません。しかし、
こと、ここに立ち至った以上、悪
あがきして運命の流れをむりに堰
きとめても詮ないこと、昔のたの
しい思い出を胸に秘め、一生、忘
れはしませぬ。あなたさまも新
しい未来に希望を持たれ、さらな
る面白い人生に出会われますよ
う、お祈りします。たのしい時間
を仰山もろうてありがとさん
……(これが煮つまって出てくる
のが、(ほな)である。

人は逝くときも(ほな)と人生
に別れを告げて逝くのがよろし
く、原稿の引ききわも(ほな)で
切り上げるがよろしかろう。

ほな。

二〇〇六年 大忙しの師走に